島原市報道資料

令和４年１２月１９日

報道関係者　各位

島原城跡初の実地検証
島原大変の痕跡を探る

標記の件について、下記のとおり「第 2 回島原城跡総合調査検討会議」を開催しますのでお知らせします。

記

１．日　　時　　令和４年１２月２７日（火）　９：００～

２．場　　所　　午前：島原城跡　本丸二ノ丸間の堀底（堀底ゲートボール場付近）
午後：島原市役所本庁舎２階２Ｂ会議室
※駐車場は、午前は島原文化会館の駐車場をご利用ください。
午後は、島原市役所本庁舎東側駐車場等をご利用ください。

３．概　　要　　島原城跡初の実地検証として、江戸時代の島原大変という「災害を受けた城」の痕跡を探るために発掘調査を 12 月 21 日（水）から実施します。27 日（火）には、有識者を招へいし議論する島原城跡総合調査検討会議を開催します。

島原守護神　しまばらん

【担当から一言】
島原城跡の国指定に向けた調査の一つです。
絵図に記された災害の痕跡を初検証します。

担当：島原市教育委員会社会教育課文化財保護推進室
担当　吉岡・山下
電話：0957-68-5473（直通）
E-mail：shakyo @city.shimabara.lg.jp

島原城跡堀底トレンチ調査（保存目的調査）調査概報

１　**調査期間**　令和４(2022)年12月13日～令和５年（2023）1月31日(予定)

２　**調 査 地**　長崎県指定史跡　島原城跡　本丸・二ノ丸間堀
島原市城内一丁目1179番第1ほか

３　**調査機関**　島原市教育委員会　社会教育課　文化財保護推進室

４　**調 査 者**　島原市教育委員会　主　査　吉岡　慈文
同　主　査　山下　祐雨

５　**調査目的**

島原城跡においては平成16年度に長崎県が活断層調査を目的に二ノ丸多聞櫓台で実施した地下レーダー探査及びトレンチ調査の結果、寛政４年(1792)の地震(「島原大変」時の地震)による地割れ痕を確認したと報告している。島原大変時の地震による被害として二ノ丸や堀の石垣が崩落したことが文献調査の結果知られている。また、現地調査の結果、本丸丑寅櫓櫓台石垣の角石や二ノ丸南西隅の角石に地震による割れや亀裂などの欠損を確認している。

今次トレンチ調査においては、寛政４年の地震の規模や島原城に与えた被害を把握するため、地割れの本体を確認することを目的とする。

６　**調査方法**

（１）島原城跡本丸・二ノ丸間の堀底に約16m×2mのトレンチを２箇所設定
（２）バックホウ(0.2 ㎥平爪バケット)により表土掘削
※バックホウの搬入・搬出は平成24 年の石垣修復時に設置した仮設斜路を使用
（３）人力掘削により地割れ痕の検出
（４）図面作成・写真撮影
（５）地割れ痕を確認した場合、養生した上で埋め戻し

7　調査位置図等

図 1　堀石垣積み直し箇所位置図

写真 1　堀石垣積み直し痕